

議案第10号 狭山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

反対 モデルケースの3人世帯で10万円、母子家庭で8万円など、加入者に非常に大きな負担増となる改定であり、今でも高い保険税にこれ以上の負担を強ければ、必要な医療にかかれぬ方が出かねず容認できない。

国民健康保険は低所得の加入者が多い制度であり、物価や公共料金の値上げが続く中での保険税引き上げは生活に大きな打撃となる。加えて、4月から国民健康保険税に上乗せして賦課される子ども・子育て支援金は、被用者保険と異なり国民健康保険加入世帯が全額負担となり、さらなる負担増となる。保険税引き上げで支えるには限界があり、未納の増加が財政悪化につながる恐れがあることから反対する。

賛成 国民健康保険は高齢化と医療費の増加で全国的に厳しい状況が続いており、埼玉県は持続可能性確保のため法定外繰り入れの解消を進めている。狭山市も一般会計からの繰り入れをしてきたが、今後の継続は財政を圧迫し、公平性の面でも限界がある。制度を守り、市民が必要な医療を受け続けるためには、今回の改正は不可欠である。市には将来世代に責任を果たすためにも丁寧な説明や健康増進に取り組むことを要望する。

議案第14号 狭山市水道事業給水条例の一部を改正する条例

反対 水道の基本料金を値上げして少量利用の使用料金の値下げが行われる。少ない利用でも年間6千円以上の値上げになる試算となり物価高騰が続く市民生活が苦しい中で、影響が大きい。経済的困窮世帯への支援の検討も求める。

今回の水道料金の値上げは、県水料金改定や人口減少・節水による収入減が背景にあるが、人口減少は今後も続く。収支均衡は4年間にとどまり、長期的には値上げを繰り返すしかない出口のない状況が懸念される。物価高の中で市民や事業者への影響も大きく、構造的要因を踏まえた見直しが必要なことから反対する。

賛成 水道料金の改定は、埼玉県水受水費の約21%増加や物価高騰・人口減少による収入減を受け、令和8年度からの赤字転落を防ぐための不可欠な決断である。基本料金の引き上げは固定費の公平な分担を図るものであり、従量料金の大幅引き下げは少量使用の高齢者・一人暮らし世帯への配慮でもある。問題を先送りにすれば将来の市民負担はさらに重くなる。安全・安心な水の安定供給を守るため、本議案に賛成する。

狭山市は、水道料金を26年間、据え置いてきたが、管路や施設の老朽化が進み、本年4月からは県水の値上がりも決定したことから、市は慎重な議論を重ね、「水道料金の値上げはやむを得ない」と判断した。値上げに際しては、基本料金と従量料金の比率を適正化することで、将来にわたる水道サービスの持続性を確保しており、市民生活を守るためにも、本議案に対し、賛成する。

議案第15号 狭山市下水道条例の一部を改正する条例

反対 下水道使用料の改定が行われ、上下水道同時値上げとなる。一方で一般会計からの繰り入れが5,000万円減額されている。物価高騰で市民生活が苦しい中、値上げの抑制と経済的な困窮世帯対象の支援を求める。

賛成 下水道使用料値上げの背景として、^{かんきょ}管渠等の老朽化が進み、物価高騰により維持管理費が増加している現状がある。このままでは、浸水対策や汚水処理に重大な支障を来す恐れがあり、市は慎重な議論を重ね「下水道料金の値上げはやむを得ない」と判断した。改定後も使用料は県平均を下回る見込みであり、必要最低限の改定率に抑えた点は評価し、下水道事業の安定的継続と市民生活のインフラを守る観点から本議案に対して賛成する。

下水道使用料の改定は、埼玉県流域下水道維持管理負担金の増加により令和8年度からの赤字転落を防ぐための不可欠な決断である。昨年の県内道路陥没事故が示すとおり、老朽化対策・耐震化対策の遅れは市民の生命に直結する。基本使用料の引き上げは財政基盤の立て直しであり、従量料金の引き下げは少量使用者への配慮でもある。問題の先送りは将来世代への負担増となる。よって、本議案に賛成する。

議案第20号 令和8年度狭山市一般会計予算

反対

- △基地周辺の騒音被害等を踏まえ、基地交付金を現在の見込額ではなく固定資産税相当額にするよう国への要望を求める
- △生活保護制度について、丁寧な窓口対応やケースワーカーの増員・研修等による業務改善を求める
- △若い世代が戦争の悲惨さを知る機会として、「平和事業」の項目を復活させ、広島等への派遣事業を再開すべき
- △休日の部活動地域移行に伴う費用負担を軽減するため、早急に就学援助の対象へ部活動補助を追加すべき

賛成

- ▲市税は個人市民税が増収見込みであり、財源確保に努めている
- ▲給食費の負担軽減や水道料金の基本料金2カ月分免除等の積極的な物価高対策を評価
- ▲中学校体育館空調設備等整備事業等は、安全で快適な学習環境の確保がなされる点を評価
- ▲老朽化する公共施設やインフラ施設の保全や再編等を計画的に行い、長期的な財政負担の軽減と平準化を図るための公共建築物等再編統合事業は、将来を見据えた積極的な姿勢を評価。入念な準備の上、取り組まれるよう要望

議案第23号 令和8年度狭山市後期高齢者医療特別会計予算

反対 年金収入240万円の単身者で1万4000円、夫婦で年金310万円の場合で1万8400円の値上げなど、限られた年金で生活している高齢者にとっては大きな負担となる予算であり賛成できない。保険証に代わる「資格確認書」について、全加入者に届く仕組みを求める。